

学校教育目標	【みつめ みがきあい みらいをひらく 南神の子】 ～自分や友達、地域を大切に、主体的に学び、互いに高め合う 子どもを育成します～ 【知】知識や経験をもとに考えたことを伝え合い、主体的に学ぶ力を育てます 【徳】自分も友達もみなかんのまちも大切にできる温かい心を育てます 【体】望ましい生活習慣を身につけ、運動に親しみ、心身共にたくましく生きる力を育てます 【公】すすんで社会とかかわり、社会の役に立とうと行動する力を育てます 【開】自分を見つめ、新しい価値観を受け入れながら、共に考え、よりよく生きていく力を育てます			
	創立 50 周年	学校長 岩田 和也	副校長 服部 可奈	2 学期制 一般学級：10 個別支援学級：3
学校概要	児童生徒数： 228 人 主な関係校： 松本中学校・三ツ沢小学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	松本中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
主体的に未来を創る力	松本中学校 三ツ沢小学校 南神大寺小学校	まちやひとと温かくつながり、みとめ合い、みらいを拓く子ども ①9年間で育てる資質・能力を意識した授業づくりや評価を含めたカリキュラムづくりを行い、共有する。②自分も人も大切に、共に高めあう心を育むために、自己肯定感や自己有用感を意識した児童・生徒の交流を目指す。③各教科等を9年間で学ぶ意義や育成を目指す資質・能力を明確化することで、「松本中ブロック小中一貫カリキュラム」としてまとめることを目指す。

中期取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども一人ひとりを大切にしながら、自分らしさを発揮できる学びを充実させます。 ・1年目は「わかる、できる」授業、主体的に取り組める授業づくりを推進します。 ・2年目は自分の考えを進んで発信すると共に、仲間の意見を聞き、新たな考えをもてるようにします。 ・3年目は、多様な考えを共有し、認め合い、深めることができるようにします。 ○人との繋がりを大切に、豊かな体験を通して、みなかんのまちを大切に思える心を育てます。 ・地域の人から学ぶ、地域の人に守られていることに感謝をしながら、学校生活が送れるようにします。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
知 授業改善	①必要感のある課題との出会いや必然性のある交流と共有の機会を意識した授業づくりにより、児童が課題を自分事として捉え、主体的に学習に取り組めるような授業づくりを行う。 ②多様な考えを共有し認め合うことのできる協働的な学びを実践する。
担当 学力向上プロジェクト	
徳 道徳教育	①自己を見つめ、疑問を感じたり、共感したりしながら、みんなでよりよい生き方について語り合い、自分の生き方についての課題の答えを探していく学習を展開する。 ②道徳科の学習の充実を図り、全ての教育活動を通して、子どもの人格形成の基盤となる資質を育成する。 ③異学年交流や体験学習の充実を図り、豊かな心の育成や人権尊重の精神を育む。
担当 道徳科部	
体 健康教育	①新体カテストの結果や普段の児童の実態から、体力向上1校1実践運動として、縄跳び運動を主に推進し、進んで運動しようとする態度を育成する。 ②家庭と連携を図りながら、食育や歯科、保健教育を進め、健康な体づくりに努める。
担当 体力向上	
公開 自分づくり教育	①地域や関係機関の人と関わりを大切に、体験的に学ぶ機会を取り入れる。 ②自分たちで学んだことや体験したことを、地域に発信し共有体験を大切にする。 ③自分づくりパスポートを活用し、子ども自身の変容・成長をふり返し、自己有用感が得られるようにする。
担当 学力向上プロジェクト	
いじめへの対応	①いじめ防止対策委員会を実施する中で、未然防止の考え方を大切に、認知された案件の経過確認・要因分析・今後の対応等、丁寧に行うことで、誰もが安心して学ぶことができるようにする。②いじめ防止研修を確実に実施し、教職員のいじめ認知の精度を上げ、早期発見につなげる。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方)	①互いに補完しあう風通しのよい関係と授業づくりや研修によるキャリアステージに応じた教師力の向上を目指し、互いに学ぶ姿勢を持ち続けるように自己研鑽に努める。 ②ワークライフバランスを大切に事務の効率化や情報の共有化を図り、質の高い働き方を目指す。
担当 教務部・メンターチーム	
地域学校協働活動	①学校運営協議会を通して、地域の児童生徒の状況を把握し、共に子どもを育む学校づくりを行っていく。 ②地域との関わりを大切に、学校・地域コーディネーターの活用を進め、様々な地域活動に参加できるようにするとともに、地域の方々の学校の教育活動への参画の機会を設けていく。
担当 学校運営部	
児童指導	①スタンダードの共有、YPIによるアンケートを年2回実施する。それをもとに子ども面談を行い、安心した学校生活を送れるような学級風土、学校風土づくりを行う。 ②全校で全児童を育てるという意識をもち、情報交換を密に児童への組織的に対応ができるようにする。
担当 いじめ防止対策委員会	
特別支援教育	①特別支援コーディネーターを中心に、一般学級と個別支援学級の担任間の連携をしっかりと行い、養護教諭やSC、SSW、関係機関を含めた指導や支援体制をつくる。 ②支援を要する児童を的確に把握し、組織的に個に応じた支援が行うことができるようにする。
担当 特別支援校内委員会	
担当	